

平成29年群馬県成人歯科保健実態調査
調査報告書
(概要版)

群馬県健康福祉部保健予防課、(公社) 群馬県歯科医師会

I 調査の概要

1. 目的

現在、「群馬県歯科口腔保健推進計画」が推進されていますが、平成23年度には成人歯科保健実態調査を行い、群馬県の成人期歯周疾患状況を把握し、「群馬県歯科口腔保健推進計画」の目標値制定に活用しました。

今回の調査は、県民健康づくり運動の成果を評価して、事業の検証、今後の指針を得ることを目的としています。

2. 調査期間

平成29年11月1日から11月30日

3. 調査対象

- ・(公社) 群馬県歯科医師会の定める健診協力医の歯科医院を受診した患者で、当調査への協力が同意が得られた者とした。
- ・35歳から84歳を10歳毎に区分し、1医院、各年齢階級2名で計10名、総数で1,000名を対象とした。
- ・回答が得られた人数は、998名で、その内有効回答数は988名であった。

地区別歯科医院数

| | | |
|----|------------|-----|
| 1 | 前橋市歯科医師会 | 18 |
| 2 | 高崎市歯科医師会 | 18 |
| 3 | 桐生市歯科医師会 | 10 |
| 4 | 伊勢崎佐波歯科医師会 | 10 |
| 6 | 渋川北群馬歯科医師会 | 5 |
| 8 | 藤岡多野歯科医師会 | 5 |
| 9 | 富岡甘楽歯科医師会 | 5 |
| 10 | 安中碓氷歯科医師会 | 3 |
| 11 | 吾妻郡歯科医師会 | 3 |
| 12 | 沼田利根歯科医師会 | 5 |
| 14 | 太田新田歯科医師会 | 10 |
| 15 | 館林邑楽歯科医師会 | 8 |
| | 計 | 100 |

年齢階級別人数

| | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75～84歳 | 全体 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 人数 | 194 | 197 | 198 | 202 | 197 | 988 |

4. 調査項目

①生活状況（問診事項） ②歯牙状況 ③歯肉状況（CPI）※

5. 調査票の回収および集計

健診協力歯科医院で記載された調査票は、（公社）群馬県歯科医師会で回収し、記入漏

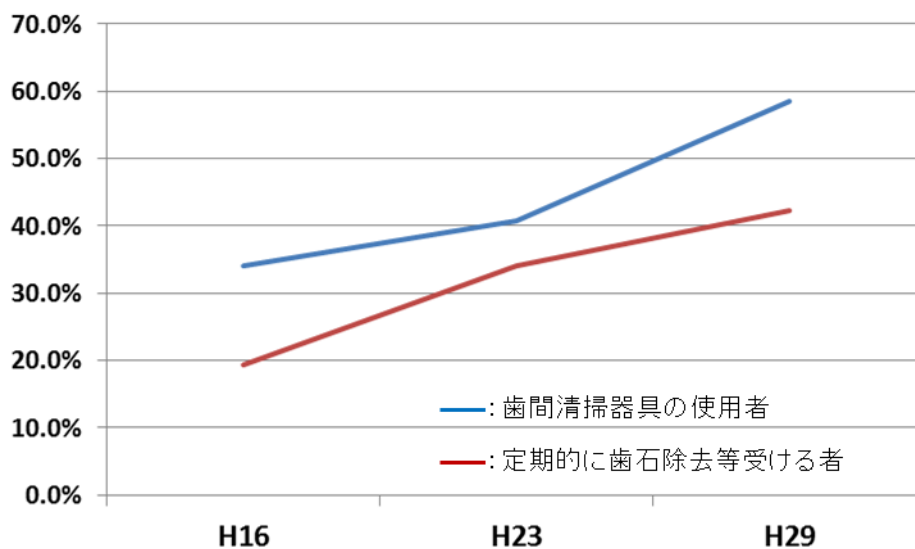
れなどのチェックを行った後、集計は県保健予防課にて行った。

※：CPI判定基準が前回調査時（H23）から変更になったため、新基準に準じた診査を実施した。

II 調査結果のポイント

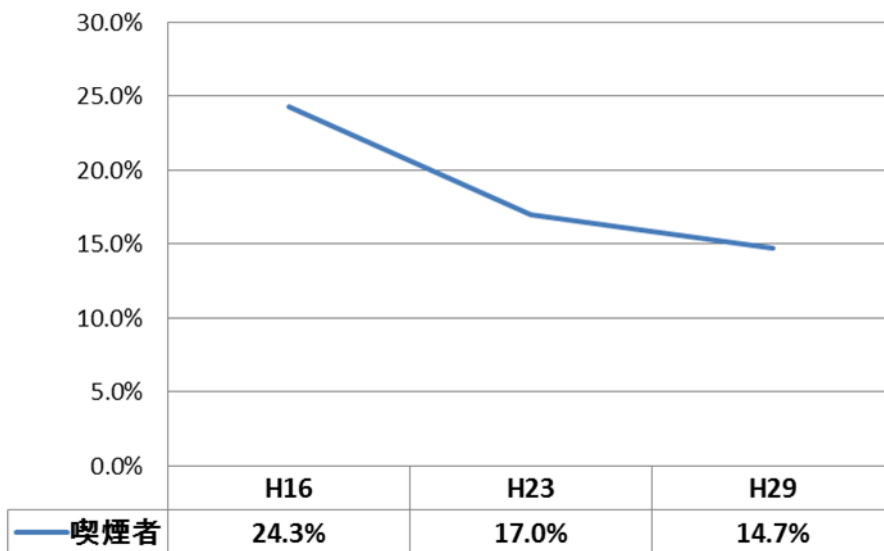
1. 問診事項

- ・「歯間清掃器具（フロス、歯間ブラシ）の使用」（40.7%→58.3%）、「定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者」（34.1%→42.3%）が前回調査時（H23）よりも増加しており、歯科口腔保健に関する意識の向上が示唆された。



| | H16 | H23 | H29 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 歯間清掃器具の使用者 | 34.0% | 40.7% | 58.5% |
| 定期的に歯石除去等受ける者 | 19.3% | 34.1% | 42.3% |

- ・喫煙者について、前回調査（H23）に比べて減少していた。（17.0%→14.7%）

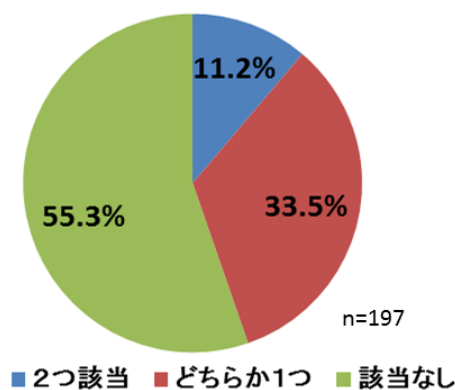


- ・「オーラルフレイル」という言葉について「知っている」、「聞いたことはある」と回答した者が 12.2%。(新規項目)



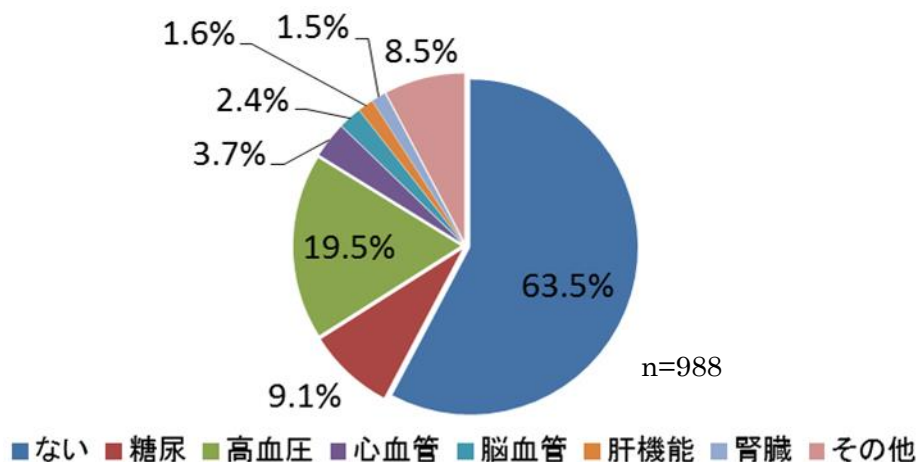
| | 35～44歳 | 45～54歳 | 55～64歳 | 65～74歳 | 75～84歳 | 全体 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 知っている | 2.1% | 3.6% | 2.5% | 2.0% | 1.0% | 2.2% |
| 聞いたことはある | 8.8% | 14.2% | 11.1% | 10.9% | 5.1% | 10.0% |
| 知らない | 89.2% | 82.2% | 86.4% | 87.1% | 92.9% | 87.6% |
| 未記入 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 0.2% |

- ・「むせ・食べこぼしがある」、「固い食品を噛みきれない」は、後期高齢者のおよそ 10 人に 1 人が両方該当し、どちらか 1 つ該当はおよそ 3 人に 1 人。(新規項目)



| | 2つ該当 | どちらか1つ | 該当なし |
|--------|-------|--------|-------|
| 口腔機能要件 | 11.2% | 33.5% | 55.3% |

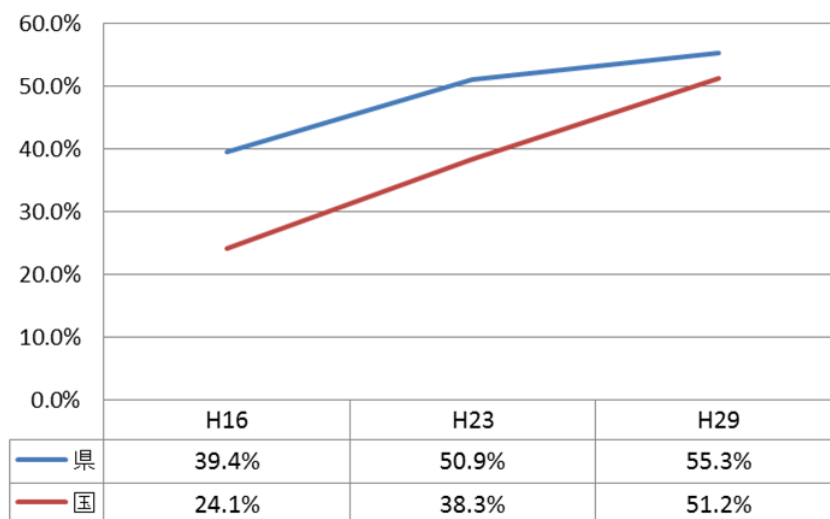
- ・既往歴として「糖尿病」と回答した者は9.1%（≒糖尿病患者の歯科受診率が低い）（新規項目）



| | なし | 糖尿病 | 高血圧 | 心血管疾患 | 脳血管疾患 | 肝機能障害 | 腎臓疾患 | その他 |
|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 既往歴(%) | 63.5% | 9.1% | 19.5% | 3.7% | 2.4% | 1.6% | 1.5% | 8.5% |

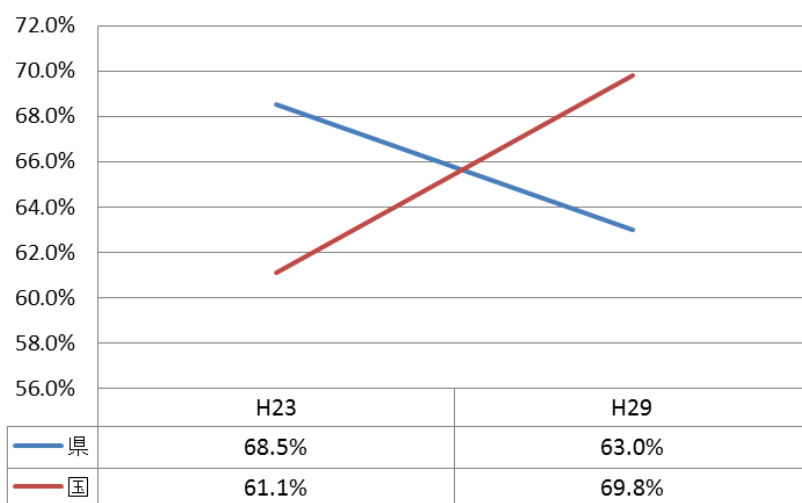
2. 歯牙の状況

- ・80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合（推計値）は55.3%で、全国値（51.2%）を上回っている。

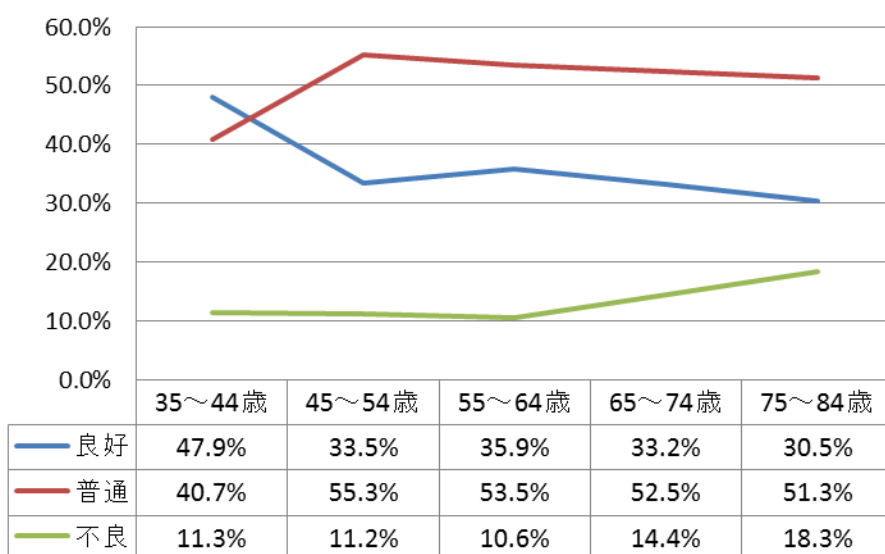


（注：全国値は平成17年、23年、28年の歯科疾患実態調査の数値より推計）

- ・ 60歳で24本以上自分の歯を有する者の割合（推計値）は63.0%で、前回調査時(H23)より減少し、全国値（69.8%）を下回っている。

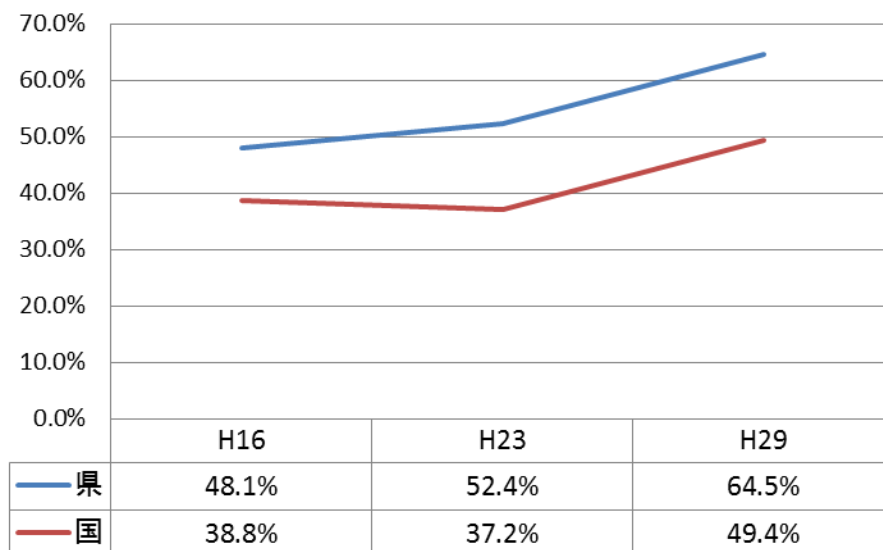


- ・ 口腔清掃不良者は65歳からの高齢者層で増加する。（新規項目）



3. 歯肉の状況 (CPI: Community Periodontal Index =地域歯周疾患指数)

- ・歯周疾患が疑われる者の割合は6割を超え、前回調査 (H23) から増加している (52.4% →64.5%)。また、全国値※ (55.5%) を上回っている。



(注：全国値は平成 17 年、23 年、28 年の歯科疾患実態調査の数値より)

補足：歯周疾患が疑われる者について、CPI の判定基準が変更になった影響で増加をしている可能性がある。

- ・歯周疾患が疑われる者を年代別に見ると、前回調査 (H23) と比較して、全ての年代で増加していた。

